

新天町商店街商業協同組合

どんな商店街？

本商店街は、1946年に創業し、およそ100の店舗が集まった商店街です。どんたく・祇園山笠など天神の文化の発信拠点としても力を発揮しています。

西鉄福岡駅から天神西通りに向かって伸びる西日本初のアーケード型商店街は飲食店、ファッション、雑貨、書籍、文具、趣味の用品など、さまざまな店が並んでいます。



満員御礼 大相撲九州場所装飾

相撲ファンや若者、インバウンドなどの新たな顧客層の獲得のために

1. 商店街の課題

福岡市の中心部である天神地区に位置する当商店街では、新型コロナウイルス感染拡大で激減していた来街者も、韓国を中心としたインバウンドや県外からの観光客などを中心に徐々に回復していますが、コロナ以前には至っておらず、組合員店舗にとっては依然として厳しい経営状況です。また、天神ビッグバンの進展により、当地区を**取り巻く商業環境も大きく変化しており、今後さらに顧客獲得が激化することが予想されます。**

2. 「満員御礼 大相撲九州場所装飾」を開催

11月の大相撲九州場所の開催にあわせて、商店街内に幕内力士41名分の色鮮やかなタペストリーを掲出し、来街者の回遊性を向上させることとともににぎわいを創出しました。

本事業は組合ホームページでの掲載のほか、FacebookやInstagramへ投稿することで、幅広い年代やインバウンドなどに対しても情報発信を行い、商店街の更なる認知度向上や組合員店舗の売上増加にも繋がりました。

3. 効果があったと思われること

組合員店舗からは期間中イベントも多かったこともあり、来店者は増加し、特に11月は前年より売上も増加したとの声が多くあがりました。また、Instagramの「いいね」数は86件と今年投稿した内容では最多数でした。

4. 来街者の声・会員さんの声

来街者からは「九州場所の開催で冬の訪れを感じ、福岡のまちも彩が増えて賑やかである」、「カラフルなタペストリーが華やかで楽しい」と大変好評でした。会員からは、11月は前年より売上も増加したとの声が多くあがりました。

5. 反省点や今後の取り組み

令和4年度より大相撲九州場所開催にあわせた事業を実施しており、今回はその第二弾であったが、どんたくや山笠と同様、福博の晩秋の風物詩として定着している九州場所にちなんだイベントを定番催事とすることは、商店街の賑わい創出に非常に有効であると考えています。

来年度も引き続き同様の装飾を行う予定のため、今後も日本相撲協会とも密に連携を取りながら、イベント開催を複数回実現できるよう、積極的に働きかけを行ってまいります。